

平成30年度 ロボット研修 場所：埼玉大学

第1回目 8月13日14日 第2回目 8月28日29日 第3回目 10月27日28日

本校の生徒3人が埼玉大学に行き、教育学部の准教授をされている野村先生にご指導をお願いして、3回に分けてロボット作りの研修を受けてきました。ロボットを動かすための基盤作りから始まり、ロボットを動かすための命令をプログラミングして、…と、一通り基本的な知識と技術を習得した後は、自分たちでどういったロボットを作りたいか考え、ひたすら工作とプログラミングの繰り返しで生徒たちは頑張っており取り組んでいました。最初は、大変ですが、慣れてくるとこだわりも出てきて、生徒たちは夢中になって作業をしていました(気がついたら、夜8時に…頑張った後の夕飯はすごくおいしかったみたいです)。埼玉大学にも行けて、ロボット作りの知識や技術も学べ、おいしい夕飯も食べられて…充実した研修だったみたいです！



- ← 左のF君が行っているのはプログラミングです。
パソコンに、たくさんの命令を打ち込んで、ロボットを動かします
- ← 右のK君は光の明暗で、自動開閉するカーテン作りに挑戦しています。
どこに車輪をつけようか、開閉方法はどのようにかなど、ロボット作りに夢中です

※写っていませんが奥でS君が自転車のタコメータ作りに悪戦苦闘しています。どのように回転数を計測させるか…いろいろと試行錯誤しています

文化祭ゲート建築について

今年度、文化祭実行委員会ゲート課は12人しかおらず、例年通りの難作業となりました。毎年少しずつ文化祭実行委員が減少していく中で無事にゲートを完成させることが出来たので安心しました。ゲート課では昨年度から参加している経験者がほとんどおらず、新しく加入した生徒は工具の使い方などを覚えるところからのスタートだったので、作業の進捗は常に気にしなければなりません。SSHの事業の一環として活動できたので、昨年と同様にものづくり大学より講師の先生をお招きして、設計図の作成、工具の使い方、組み立てにいたるまでをご指導いただき、自分たちの知識をさらに伸ばすことが出来ました。また、SSHからいただいた予算は角材、外板、塗装用ペンキ等の材料、そして作業に必要な工具の購入に使わせていただきました。SSHから予算をいただいたことで大変充実した活動ができました。



また、先に述べた通り文化祭実行委員会が深刻な人員不足に陥っています。来年どれだけ増えるか見通しがついていません。そんな中の限られた人数でいかに完成度の高いゲートを完成させるか、来年のゲート課の仕事に期待したいと思います。最後とはなりますが、ものづくり大学の萩原先生、ゲート作成に携わって下さった先生方、予算会計に関わって下さった先生方に幸甚を示しご報告とさせていただきます。ありがとうございました。

第69回文化祭実行委員 ゲート課長 富岡 佑輔